

平成24年2月15日

千寿第五小学校・五反野小学校 保護者・関係者のみなさんへ

「千寿第五小学校と五反野小学校の適正規模・適正配置実施計画」

意見交換の記録

発行：足立区教育委員会事務局
学校適正配置担当課
電話：03-3880-5426（直通）

[H24/1/31～2/7 に実施した保護者説明会等の概要]

両校の関係者や保護者のみなさまにご説明をまいりました「千寿第五小学校と五反野小学校の適正規模・適正配置実施計画」につきまして、平成24年1月に正式に決定いたしました。

今後、実施計画に記載の方法、スケジュールで統合を進めさせていただくため、1/31（火）から両校の保護者説明会等を開催させていただきました。ご出席ありがとうございました。

この資料は、出席できなかった保護者のみなさまにも情報を共有していただくことを目的に、その時のご説明や意見交換等の主な内容をまとめたものです。

両校の保護者説明会等の主な対応

日にち	千寿第五小学校	五反野小学校
1月16日	両校開かれた学校づくり協議会代表者意見交換会（ ）	
1月19日		開かれた学校づくり協議会
1月31日	保護者説明会	
2月1日		平成24年度入学説明会 ・保護者説明会
2月4日	保護者説明会	保護者説明会
2月7日	平成24年度入学説明会	
2月8日	中央南地区町会・自治会長意見交換会	

両校5名に出席をお願いしましたが、五反野小学校の関係者と教育委員会の2者での意見交換となりました。

教育委員会からの主な説明や報告の内容（要旨）

1 これまでの経緯と実施計画の決定について（学校適正配置担当課より）

これまで、約2年にわたり千寿第五小学校と五反野小学校の統合について、両校の開かれた学校づくり協議会や保護者のみなさまに実施計画（案）の説明をさせていただきました。

千寿第五小学校では、学校が果たしている防災機能や地域コミュニティの観点から、統合には反対であるという意見を多くいただきました。

また、五反野小学校では、様々な想いのある中で、行政として計画を示した以上責任をもって進めてほしい、反対の声がある中でスケジュールどおりに進められるのかという意見や、子ども達のための教育環境を考えて新しい学校を創っていくという前向きな意見をいただきました。

このようなたくさんの意見をいただく中で、今後の区立小・中学校の施設更新という大きな課題も踏まえて、計画内容に下記を追記して、平成24年1月に実施計画を成案としました。

統合地域協議会の立ち上げに向けて、引き続きご理解をいただくよう努めること。

教育委員会が主催する説明会等で意見交換を進めること。

統合校は「新しい校名」「新しい校章・校歌」でスタートすること。

くわしくは両校の保護者のみなさまにお送りした実施計画の15、16ページを再度ご確認ください。

2 仮設校舎の建設と耐震性等について（学校改築担当課・学校施設課より）

平成24年1月に、新校舎の設計や千寿第五小学校に設置する仮設校舎の設計事業者が決定しました。現在、各プランの検討を早急に進めています。

今回ご提示する資料は仮設校舎の配置図で、今後、教室の配置などを検討していきます。

資料の斜線部分が仮設校舎の位置となり、現在のプールの位置に建設する。

普通教室（9m×7m＝63㎡程度）が4教室×3階建てのボリュームで、1階は主に給食場とし、2階と3階で普通教室8教室分を確保する。

仮設校舎と一緒に渡り廊下をもうけて、既存の校舎との行き来ができるようにする。

南側の門が仮設校舎にあたるので、今よりも東側（既存校舎と仮設校舎の間）に移設する。

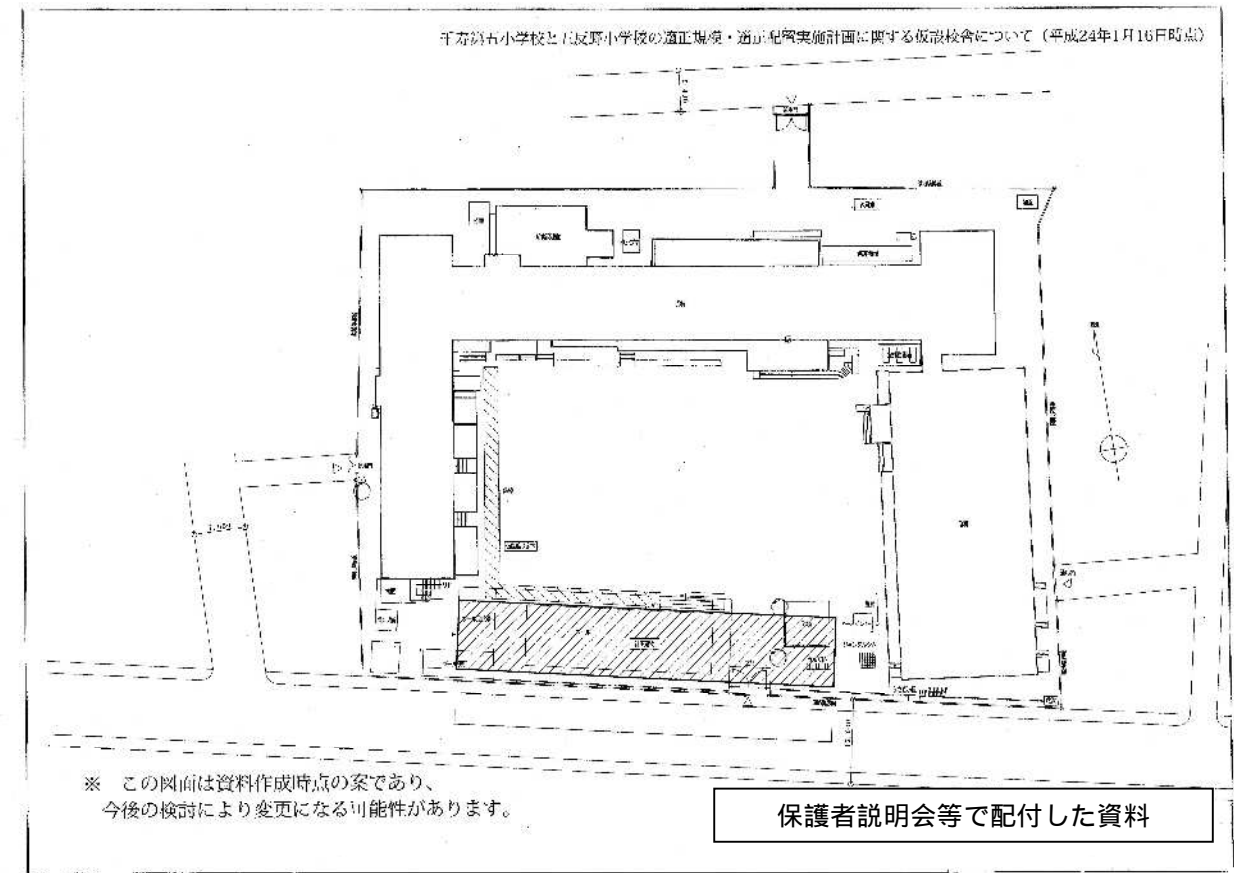
プールの解体工事は、平成24年度の夏休みを考えている。（解体の騒音などから）

秋口頃から仮設校舎の建設に入り、来年の2月頃に完成、3月に引越しを予定している。

仮設校舎は、現在の建築基準法にあった建物とするので、法の求める安全性を確保している。

これまでの事例で、第四、第七、第九中学校の大規模改修で建てたものと同等のものである。

仮設校舎の高さは11mぐらいになる。そのため、中高層建築物に関する条例に基づき、今後お知らせ看板をつけたり、近隣のみなさまへの説明会などを進める。



新校舎は、五反野小学校をすべて解体して改築（新しい校舎を建設）する。

約8,000㎡程度の延べ床面積を想定している。

3学級×6学年＝18学級前後の普通教室と、特別教室や特別活動の教室などを想定

今後も新校舎や仮設校舎の設計の進ちょくを保護者説明会などでご報告しながら、両校の関係者や保護者のみなさまとの意見交換を進めてまいります。

Q 実施計画の決定や今後について等

千寿第五小学校の関係者のみなさんから、統合に反対の署名と要望が区長に届けられたと聞いています。現在も千寿第五小学校のみなさんからは反対の意見が多いと聞いています。その意見をどのように反映していくのですか。

防災や地域コミュニティも大切なことですが、子ども達の教育環境を考えていくことも必要だと思います。

反対のチラシや、親同士の会話などで、子ども達が不安にならないように十分配慮して進めてほしいです。

千寿第五小学校の開かれた学校づくり協議会から出した文書に対して、教育委員会からの回答がありません。

千寿第五小学校にある柳の木はどうなってしまうのですか？子ども達も心配しています。

施設更新のスケジュールは大体決まっているようですが、新しい校名や校章など、ソフト面のスケジュールを教えてください。

改築期間中はプールがなくなってしまうようですが、夏のプールの授業はできないのでしょうか。

地域や保護者の代表だけでなく、一般の保護者同士が話し合う場が必要ではないでしょうか。

両校の保護者同士なら、もっと前向きに建設的な話ができるのではないのでしょうか。

新しい校舎については、人工芝にしてほしいなどの意見が出ています、新しい校舎の良いところや事例などを、ぜひ紹介してほしいです。

今回の統合は新しい校名や校章などで進めるとのことですが、必ずしも新校名でなくても良いのではないのでしょうか。

1/11に1万1千強の署名をいただきました。関係者のみなさんのお気持ちとして、十分に受け止めております。要望された防災機能や地域コミュニティなどについては、千寿第五小学校の跡利用の中で、関係者のご意見を伺いながら検討したいと考えています。

統合にあたって、事前に交流事業を行なうなどして、子ども達が早く仲良くなれるように取り組んでいきます。

子ども達の心のケアに関しては、教育委員会全体で取り組んでいきます。

これまでいただいた文書に対しては、全て回答をしています。再度ご確認いただき、ぜひ保護者のみなさんにも周知していただければと思います。

柳の木については、現在、移植も含めて検討しています。また、挿し木など、別の方法も検討していきます。

これまでの例では、子ども達や地域から募集することが多いです。次回の説明のときにスケジュールを提示したいと思います。

近隣の小学校や、学年によっては中学校を借りるなどして、プール授業ができるよう調整していきます。

保護者の合同説明会は、その説明会の趣旨や方法について両者の共通認識が必要だと教育委員会では考えます。

ご意見のような前向きな意見もいただいていますので、今後も調整していきたいと考えています。

人工芝について、現時点ではその方向で考えています。そのほか、改築した西新井小や千寿双葉小の事例など、今後の説明会等で紹介していきます。

統合校は、両校を廃止して新校を設置します。子ども達の意見を聞きながら、新校名でスタートする予定です。

Q 災害時の子ども達の安全に関すること

改築期間の2年の間に大きな地震や火災が起きたときに、狭い校庭に統合後の700人の児童が安全に避難できるのでしょうか。

この図は完成予定図で、工事期間中はもっと校庭が狭くなるはずですが、建築基準法で決められた耐震性など、法律を守れば良いということではないのでしょうか。

子ども達の安全を守るため、今考えられる避難計画を両校の保護者にきちんと示してほしい。

避難計画は誰が作成するのですか。教育委員会に専門の人はいるのですか。

実際に両校の児童や保護者が合同で訓練すべきではないでしょうか。ぜひ訓練の機会をつくってほしいです。

その時の施設環境の中で、最も安全な方法で子ども達を避難誘導していくことは当然のことです。

これまでの改築で、校庭やプールが数年間使えなかった事例などを参考に、具体的な検討を進めていきます。

法律を守ればそれで良いということではありません。避難計画には、一番その学校のことを良く知る先生方と教育委員会で話し合って作成していきます。

内容によっては災害対策を担当する部署とも協議していきます。

いただいたご意見を受けて、地震や火災発生時の避難方法の基本的な考え方をまとめました。今後、実際の訓練などを踏まえて、より具体的な避難計画を作成していきます。

Q 転校に関すること

実施計画に「転校できる」と書いてあります。必ず希望する学校に入れていただけますか。

近隣の学校で、何人ぐらい受け入れられるのかわからなければ、転校の検討ができません。

転校はいつから、いつまでできるのですか。

子どもの転校という大事な問題です。両校の保護者にきちんと情報を伝えてほしいです。

現在の各校の状況を別紙にまとめました。統合校に通ってほしいと教育委員会では考えていますが、転校をお考えの場合には、短期間で恐縮ですが、なるべく早くご相談をお願いします。

子ども達のこれまでの友達関係を考え、教育委員会としては統合校に引き続き通ってほしいと考えていますが、統合という大きな事業であることを踏まえて、統合前(平成24年度末)までは、転校を可能とします。

ただし、転校先の小学校の児童数や学校規模などによっては、受け入れられない場合もあります。

個別に相談を受けさせていただきたいため、なるべく早く学務課就学係(区役所南館5階・3880-5969直通)までご相談ください。

なお、今年度末での転校手続きについては、2/29(水)までに学務課で行なっていただくようお願いいたします。

紙面の関係上、主な質疑を掲載しております。ご不明な点等は下記の担当までお問い合わせください。

統合に関する説明および意見交換にたくさんお時間をいただきありがとうございました。今後も両校の開かれた学校づくり協議会や保護者説明会などを通じて、千寿第五小学校と五反野小学校の統合が円滑に進むよう努めてまいります。今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。